ニコ・ステーション iko STATION

心のコミュニケーションから生まれた温かいもの

私は臨床検査部に所属し、採血・採尿の受付を担当しています。常に「ここに来る人は体調が良くない方」ということを念頭に置いて対応するようにしています。体調はもとより、不安や緊張を伴って来られる方がほとんどだと思われるからです。私の対応によりその気持ちが和らぎ、リラックスされた状態で採血担当へバトンタッチ出来るよう笑顔で丁寧なご案内をいつも心がけています。

コロナが流行し始めたある日のことでした。長く通院されている患者さんのお付き添いの方が、私に「ここは母の命綱です。どうか皆さん頑張ってください。応援しています。」とお声かけくださいました。“命綱”という表現に、自分たちの担う責任の重大さを感じるとともに、こうして見守ってくださっているその方の

温かいお気持ちに感謝で胸がいっぱいになりました。いまだに終息を迎えないコロナと戦う医療現場では、精神的にも辛い大きな戦いが続いている状況です。これまで皆さんから頂いた沢山の応援は、スタッフの心に届き元気の源となっています。

検査部の合言葉は、「正確・迅速・付加価値」です。受付で患者さんの不安を和らげ、採血担当へ、そして検査技師へのリレーがスムーズに行われるよう合言葉を胸にこれからも進んでいきたいと思います。

［臨床検査部 受付担当］

INFORMATION

お知らせ掲示板

医療機関の先生方へ

「連携医制度」のご案内

当院では、地域の医療機関の先生方とさらに連携を深め、適切な役割分担のもと、患者さんにより良い医療を提供するため、連携医制度を実施しています。
まだご登録されていない先生方で、ご登録をご希望の場合は、お気軽に患者総合支援センターにご連絡ください。

連携医ご登録のポイント

■貴院のリーフレットを展示

貴院からいただいた情報をまとめて、こちらで簡単なリーフレットを作成します。
リーフレットは当院1階の総合受付前に展示します。

お問い合わせ先
患者総合支援センター
TEL：095-822-3251
FAX：095-821-1116

受診のご案内

［診療時間］ 8:45～17:00

［受付時間］ 予約のある方　予約時間にあわせてお越しください。
予約のない方　月曜～金曜 8:30～11:00

［休 診 日］ 土曜／日曜／祝日／年末年始
※救患は随時受け入れています。

面会のご案内

- 現在、新型コロナウイルス感染症対策として、原則として面会をお断りさせていただいております。
- 入院患者さんへの荷物のお預かりは、1階面会受付へお尋ねください。（平日・土日祝13時～17時、原則週2回まで）
- 初診で紹介状をお持ちでない方は、選定療養費として別途7,700円（税込）をいただきます。
- 再診予約時間の変更は、平日の14時～16時にお電話ください。（お電話口で診療科をお伝えください。）
- 正面玄関は8時から開錠します。
- 外来診療担当医表はHPに掲載しています。
右のQRコードからご覧ください。

外来診療担当医表

電話でのお問い合わせ　095-822-3251（代表）

発行・編集
長崎みなとメディカルセンター　総務課 広報担当

長崎みなとメディカルセンター広報誌
08
2023/03

みんなのみなと

TOPICS

我慢しないで！月経中の痛みや嘔吐 / 診療ホットライン
難聴は「認知症」の危険因子?! / 季節の知恵袋
患者さんの療養場所、病室に潜入！ / 院内探検隊！
古賀脳神経外科 / あなたのまちのお医者さん

MEDICAL HOTLINE

診療ホットライン

こんな時にはご用心！

我慢しないで！月経中の痛みや嘔吐

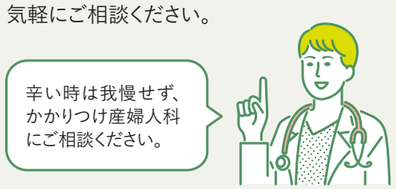
月経困難症とは月経中に起こる腹痛や腰痛、嘔気、嘔吐などをいいます。原因として子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症または子宮の形の異常がある場合や、そのような病気がなくても月経の血液を排出するために子宮を収縮させる物質であるプロスタグランジンの分泌が多すぎて子宮が収縮しすぎることや、子宮の出口が狭いことで症状が生じる場合があります。

■月経困難症の治療法

治療としては鎮痛剤、ホルモン剤、手術療法があります。鎮痛剤はプロスタグランジン産生を抑える鎮痛剤（非ステロイド抗炎症薬）を使用します。痛くなる前に内服を開始したほうが効果があるため、月経が始まった日から内服するようお伝えしています。ホルモン剤は低用量ピルが最も多く使われており、かつては月１回出血を生じさせるタイプのみでしたが、最近はさらに出血回数を減らすよう約３か月または４か月毎に出血をおこすタイプが主流となっています。低用量ピルを服用し、出血回数を減らすことに不安を感じる方もいらっしゃいますが、昔の女性は妊娠、出産回数が多く、月経のない期間が長い傾向にありましたが、それでも問題はありませんでした。ピルを内服して、月経がない期間を長くしても特に問題はありませんので、ご安心ください。治療法としては、他にも年齢や既往症を考慮して黄体ホルモン剤やGnRHアゴニスト、アンタゴニスト剤を使用します。必要時には手術療法も検討します。

■辛い時は産婦人科に

現代女性は昔に比べ出産回数が減ったため月経回数が増え、月経のある期間が長くなっています。月経の回数が多くなったことで月経困難症や子宮内膜症などの病気が増えてきたと考えられています。月経困難症は我慢するものではありません。かかりつけ産婦人科医を持ち、気軽にご相談ください。



［産科・婦人科 診療部長 藤原 恵美子］

教えて！先生

すこやか広場

［コロナ後遺症］

Q 新型コロナウイルス感染症にかかった後の罹患後症状（いわゆる後遺症）には、どんな症状がありますか？

A 以下のような症状があり、罹患してすぐの時期から持続する症状、回復した後に新たに出現する症状、症状が消失した後に再び生じる症状の全般をさします。

▼主な症状

呼吸器症状 咳、喀痰、胸痛、息切れ	**全身症状** 疲労感・倦怠感、関節痛、筋肉痛、筋力低下
精神・神経症状 頭痛、記憶障害、集中力低下、抑うつ、睡眠障害	**その他の症状** 動悸、下痢、嗅覚障害、腹痛、味覚障害、脱毛

Q 疲労感や倦怠感が続き、生活や仕事に支障が出ています。どこに受診したら良いでしょうか。

A 長崎県では、コロナ後遺症が疑われる場合、まずはかかりつけ医や最寄りの医療機関に相談する体制となっています。受診する際は、新型コロナウイルス感染症の発症日・症状とその経過・症状の期間・投与された薬物治療・ワクチンの接種等の情報をまとめておくことをお勧めします。

■コロナ後遺症を起こさないために

コロナ後遺症については、その原因やメカニズムなどについては不明な点が多く、国内外で研究調査が行われています。現時点での調査では、時間経過とともに症状が改善することが多いとされていますが、症状が長引くケースもあり、仕事や生活に支障が出ている方もいらっしゃるというのは報道等でも多く取り挙げられています。コロナ後遺症を起こさないためには、新型コロナウイルス感染症に罹患しないことが最大の予防であり、重症者ほど出やすいと言われる後遺症は、重症化を防ぐため新型コロナウイルスワクチンを接種することも大切です。自分にできる感染症対策を継続していきましょう。

［院長 門田 淳一］

あなたのまちのお医者さん

脳のかかりつけ医として予防医療・早期診断・治療を目指しています。ゆとりをもって患者さんに接し必要な検査、丁寧な説明を行い、お帰りの際には笑顔で「安心しました」と言って頂けるような患者さん本位の安心と信頼の医療を心がけて参ります。

古賀脳神経外科

院長 森 勝春 先生

■プロフィール

昨年9月に当クリニックを継承しました。約30年に渡り10万人を超える脳神経外科の患者さんの診療に携わって参りました。たくさんの患者さんから学ばせていただいた“経験”という宝物を、これからみなさまにお返ししていくことができれば幸いです。

■趣味

家族や友人とおいしいお酒を飲みながら音楽や会話を楽しむ時間が本当に幸せです。

［診療科目］
脳神経外科、リハビリテーション科

［診察時間］

	月	火	水	木	金	土
9:00-12:30	○	○	○	○※1	○	○※2
14:00-17:30	○	○	○	－	○	－

［休診日］
日曜、祝日、木曜・土曜午後
※1木曜：月の最終木曜は終日休診
※2土曜：第1、3、5土曜は終日休診

■医院の特徴

頭痛、ふらつき、しびれ、物忘れ等様々な症状を診療します。加えて、県内で唯一ガンマナイフ治療についての相談ができます。提携の福岡記念病院にて治療を受けることも可能です。詳細は下記HPをご覧下さい。

■患者さんについて

かかりつけの患者さんの生活習慣病の管理を中心とした予防医療や認知症相談の他、頭痛の新規治療の登場で片頭痛の患者さんも増えています。脳神経外科専門治療が必要な場合、速やかに連携する高次病院へ紹介しています。

※原則予約診療です
ウェブまたは電話でご予約ください。

TEL.095-818-6668
〒850-0017
長崎市新大工5-7
シーボルタウン2F

患者さんの療養場所、病室に潜入！

YouTubeで動画配信中！

当院には、一般病室・一般個室・特別個室の３種類の病室があります。一般病室は４人部屋で、一般個室は病棟に数室ずつあり、特別個室は院内に１室のみあります。一般個室・特別個室については、それぞれ差額室料（自己負担）がかかります。

病室は、スタッフがすぐに駆け付けられるようスタッフステーションを囲むように配置されています。ベッド周りは、車椅子の出入りもしやすく、圧迫感はあまりありません。安全な療養を第一に考えた病室のつくりですが、患者さんには不自由を感じる部分もあるかと思います。何かございましたら、お気軽に病棟スタッフにお声かけください。

3月3日は「耳の日」ヒアリングフレイルってご存じですか？

■難聴は「認知症」の危険因子？！

フレイルは身体の衰えという意味があり、「ヒアリングフレイル」は聞き取る機能が低下している状態のことを言います。難聴があると認知症になりやすいことが近年の研究で分かってきました。ヒアリングフレイルにより周囲とのコミュニケーションが低下することで、部屋に引きこもるといった社会的孤立状態になりやすい、うつ傾向になりやすい、周囲から認知症と勘違いされやすくなります。認知症において予防可能な40％の要因の中で難聴は最大の危険因子と報告されています。このように認知症の予防策の１つとして難聴の対策が重要となってきます。

■まずは耳鼻咽喉科に受診を！

難聴には様々な原因があり、疾患によっては治療で改善するものがありますので、まずは耳鼻咽喉科を受診ください。補聴器の適応については、補聴器相談医が所属する病院に一度相談することをお勧めします。もちろん当院でも補聴器外来がありますので是非ご相談ください。難聴に自覚がない方は、「みんなの聴脳力チェック」という無料アプリがありますので、一度お試しください。

20文字の短音が再生されて、その言葉を当てるクイズです。

アプリについてはこちらをご覧ください。

■当院の補聴器外来

耳鼻咽喉科の外来診療日（木曜日以外の平日）に一度受診してください。通常の外来受診で診察後、補聴器外来の予約をお取りします。紹介状がない場合、選定療養費7,700円のご負担があります。

［耳鼻咽喉科 吉田 翔］